



Learn all you can, then do your best. 吉田 蓮(カイコベ)

初めまして！今年度から非常勤講師として個別指導を担当しております、吉田蓮と申します。私は中学時代に今福教室で約1年半・高校時代には予備

校で約半年間お世話になりました。そして今回、生徒としてではなく講師としてカイチに関わることで、嬉しく思っております。

記事を書くのは今回が初めてなので、何について書こうか悩みましたが、私自身の経験を通して「高校入試」についてお話したいと思っています。中学生の頃、私は卓球部に所属していましたが、1年生の冬休み前に退部しました。とはいえ、その後すぐに勉強に打ち込んだ訳でもなく、ダラダラと過ごしていました。定期テストの点数も平均点を下回ることが多く、成績も5段階評価で「3」がほとんどという状況でした。そんな中、2年生の夏に某公立高校のオープンスクールに参加し、「私が行きたい高校はここだ！」と強く感じたことを今でも鮮明に覚えています。ただ、当時の自分の成績

では到底合格は見込めなかったため、そこで心を入れ替え、本格的に勉強に取り組んだ結果、無事その高校に合格することができました。「何もしていなかった状態から合格したのだから、すごいことを成し遂げただな」と思われるかもしれませんが、実は誰でも明日から実践できるようなシンプルなことを積み重ねただけです。

学校では、休み時間に次の教科の復習・課題は自分が納得するまでとことんやり込みました。また、塾の自習には必ず参加するようにしていました。この3点に加えて、3年生になってからは、塾がある日は1時間半、塾がない日は3時間の勉強を続けていました。勉強をしていると、自分では解けない問題に出会うこともあります。そうした時には、塾の先生に質問しに行くことがとても大切だと思います（私はあまり質問できていなかったのですが…笑）。どんなに些細な疑問でも、質問することでその問題への理解が深まり、しっかりと定着するはずです。

ここまで読むと、順調に進んでいるように思われるかもしれませんが、実は大きくつまづきかけたことが一度あります。それは入試当日でした。自信

があった理科で、唯一苦手だった地学の分野から出題され、頭が真っ白になってしまったのです。その動揺のせいで、普段なら解ける簡単な問題まで解けなくなってしまいました。それでも、「ここで諦めたらきっと後悔する」と思い直し、社会で取り返そうと今まで以上に集中して取り組みました。そのときのことは今までも強く印象に残っています。

そのときの経験から、私が大切にしている言葉があります。それは「Learn all you can, then do your best.」という名言です。意味としては「どこまでできるかを自分で決めつけず、限界だと思ってもさらに探り続け、その上で得られたものをもとに、自分にできる最高の努力・判断・行動をしよう」というものです。この言葉は、アメリカ海軍の提督チェスター・ニミッツによるもので、スポーツや勉強など、あらゆる場面に当てはまると感じています。もし今後、何かにつまづいたときは、この言葉を思い出してもらえると嬉しいです。

最後に、私はまだまだ未熟ではありますが、開智で培った経験を活かし、今度は自分が生徒を支える立場として力になれる存在を目指していきたいと思っています。

思えるのです。「得」は無くても「徳」がある。私にとっての「徳」ほんの少しの良いものとは、お気に入りの写真を撮ることなのです。

夕景撮影の準備でも同じことが言えると思いますが、夕景撮影での醍醐味は、何といっても陽が沈んでからの赤く染まり行く色合いの変化です。その日の状況によりますが、一番赤く染まるのは日の入りしてから20分から40分ぐらいです。その約20分、ファインダーを覗きスクリーンに映しだされ色合い変化する映像を楽しみながらシャッターを何度も何度も切る！この時間は私にとって至福のひと時です。

撮影を終えると撤収作業をしながら見知らぬカメラマン達と「お疲れ様です。良いの撮れましたか？」と声を掛け合うのも楽しいものです。（良い撮影スポットには必ず多くの写真好きが寄り集みます）天候に恵まれず良い写真が撮れないことも多々ありますが、至福のひと時を求めて早起きして出掛けてしまうのです。

このグローイングがお手元に届く頃はおそらく梅雨入りしていてお天気が心配ですが、皆様も「映える」一枚を撮りにお出掛けしてみませんか？



▲湖北の日の出



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563
【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

将来の年収を上げる教育とは？

新学年は初めての定期テストが終わりましたが、皆さんどうでしたか？カイチ全体では平均90点以上の開智賞が113人、過去1年間の最高得点の努力賞が184人、中学の塾生が全員で537人ですから、約40パーセントの生徒がどちらかに該当したことになります。全体としては、新学年を良い形でスタートが切れたと思います。

今回のGROWINGでは久しぶりに本の紹介をします。教育経済学の研究者の中室真紀子さんの「科学的根拠で子育て 教育経済学の最前線」です。

教育経済学とは、教育にかかるお金や時間、意思決定や成果を経済学の観点で分析する学問分野です。そして、この分析に使われるものはデータです。最近では、何十万、何百万人という単位の子供の成績、行動、進路などが含まれるビッグデータがあります。本書では、これらのデータを駆使して得られた科学的根拠(エビデンス)によって、子供の頃のある時点で受けた教育が、大人になってからの就職、収入、健康、そして幸福感などに与える影響と、教育や子育てへの有益な提案が書かれています。

今回はこの本から、「将来の年収をあげる教育とは？」についてお伝えします。

将来の年収を上げる教育その1 スポーツ

パデュー大学のジョン・バロン教授らの研究は、アメリカの高校で課外活動としてスポーツをしていた男子生徒は、スポーツをしていなかった同級生と比べて、高校を卒業して11～13年後の収入が4.2%～14.8%高いことを明らかにしています。そして、スポーツの良い影響は、女子の方が大きいという複数のエビデンスもあるそうです。

子供の頃のスポーツの経験が、大人になってからの収入を上げる理由については、①採用が有利になる、②忍耐力やリーダーシップが身に付くという2点が上げられています。

①採用が有利になるについては、スポーツ経験があるという履歴書は、面接に呼ばれる確率が2ポイント高くなり、建設業や介護職などの体力を求められる仕事では、その効果は2倍にもなるという研究結果がでています。

また、②忍耐力やリーダーシップが身に付くことについては、同じ家庭で育った14万人のきょうだいを比較する研究が実施されています。分析の結果はきょうだいのうち、スポーツをしていた方の年収がスポーツをしていなかった方よりも約4%高いことが分かりました。そして、きょうだいのうちスポーツをしていた方は忍耐力、リーダーシップ、責任感、社会性などの「非認知能力」(学力テストやIQテスト

で計測できる「認知能力」に対して、それ以外の能力の呼び方)が高いことが分かったそうです。

そして、非認知能力こそが、その後の学力や中年期以降の年収に高い相関関係があることがわかっています。この非認知能力を伸ばすには、スポーツだけでなく音楽が有効とするエビデンスもあります。高校卒業まで継続的に音楽活動をしていた生徒は、学校の成績が良いだけでなく、勤勉性が高く、外交的で、意欲的であることが分かっています。また、美術も有効で、美術館に行って絵画を鑑賞する経験をした生徒は、他社への寛容性が高く、批判的思考力に優れていることを示したエビデンスもあります。

確かに、大半がクラブと勉強を両立しているカイチ生が優秀なのも頷けます。

将来の年収を上げる教育その2 リーダーになること

カリフォルニア大学サンタバーバラ校のピーター・クーン教授が行った研究データによると、高校時代にリーダーシップを発揮した経験がある人は、そうした経験のない人に比べると、高校を卒業して11年後の収入が4～33%も高くなることが示されています。

リーダーになることで将来の採用や就職に有利になるデータや、学力や学歴が高まることを示すデータもあり、良いこと尽くしのようです。

ただ、ここで気になることがリーダーシップとは、生まれながらに備わった能力ではないのかという問題です。実はこれに対してもデータがあり、リーダーとしての経験を多く積んだ生徒の方が、リーダーシップスキルが高くなっていることが分かっています。つまり、リーダーシップは天賦の才能ではなく、経験を積むことで身に付くスキルであることが分かっています。「自分に自信がある」などの性格的な特徴とも相関はないそうです。また、経験することが重要ですので、集団登校の班長やボーイスカウトの班長など小さなグループのリーダーでも全く構わないそうです。

リーダーに立候補する要因としては、自分からではなく親や周りからの勧めが最も多いようですので、機会がある時には、「やってみなよ!」とは是非背中を押してあげてください。

以上、「科学的根拠(エビデンス)で子育て 教育経済学の最前線」の一部をご紹介しましたが、いかがでしたか？将来の収入を決める要因となっているのが、スポーツやリーダーシップの経験。保護者の方にとっては、意外ながらも「なるほど!」と感じられた方も多いのではないかと思います。そして本書では、スポーツやリーダーシップ経験から身に付く、忍耐力や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」こそが、将来の健康や結婚生活、仕事の成果などと相関する力であることを解き明かしていきます。

ご興味がおありの方は是非ご一読ください。



細越のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 細越 弘明(パスカルクッズFC担当)

早起きは三文の徳

「早起きは三文の徳」は「朝早く起きれば、ごくわずかではあるが何らかの利益がある」という意味のことわざです。「三文」は一文銭三枚を現わしていて「ほんの少しのもの」を意味します。ですが、ここで使われる「徳」は金銭的な利益を得ることではなく「精神的・身体的な利益」を現わしています。ちなみに「三文」は現在価値では90円～110円ぐらいだそうです。「たとえわずかであっても良いことがあるので早起きしましょう」というプラス思考的な意味合いです。

話は変わりますが、私の趣味は下手の横好きですが写真です。この趣味に出会って10年程になります。そして主に風景や花をメインに撮影しています。風景写真では日の出や夕景写真が多いのですが、特に日の出の撮影では準備が肝心です。(これは登山や旅行でも同じことでしょう)

【出掛ける前の準備】

- ①撮影場所、撮影日を決める(あれこれ悩みながら決めるのが楽しい)
- ②撮影場所、撮影日が決まれば日の出時間、日の出方向

を確認しておく

- ③現地までの車の移動時間を確認しておく

- ④カメラとシャッターリモコンの動作確認(両方共、予備の電池必須)

【出発から撮影までの準備】

- ①日の出時間の約1時間前には現地に到着するよう余裕をもって出発
 - ②日の出方向をスマホで確認しながら三脚を据える
 - ③三脚の雲台にカメラを装置して水平垂直を入念に調整。設置地面がたいらではないのが普通なのと、ヘッドライトの手元の灯りがあるとはいえ、暗闇の中でのこの作業は必ずと言っていいほど毎回手間取る。
 - ④③の作業が完了すると撮影したい画角に対して適切なレンズを装着
 - ⑤適正露出の確認の為に試し撮りを繰り返して準備完了、そして日の出を待つのみ(この待ち時間は期待しななくワクワクドキドキです)
- これが日の出写真撮影における私なりの準備ですが、なんの「得」もなく、写真を撮ろうとする行為は「早起きは三文の徳」のことわざと何か通じることがあるように私には

■6月14日(土)・6月21日(土)は中学生対象に期末テスト対策の9時間自習を13時～22時で行います。
みんなで頑張りましょう。
■6月22日(日)は珠算上級検定です。時間については、各教室にお問い合わせください。
■6月29日(日)は珠算段位検定です時間については、各教室にお問い合わせください。

カイチからの
お知らせ

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

今津教室あれこれ

辻田 衣里(今津教室)

皆さんこんにちは。今津教室の辻田です。春が終わり、夏へ向けてだんだん気温も上がってきている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

早速ですが、最近の今津教室の様子をお届けしたいと思います。

【新教室長 岡本先生】

まず今津教室の最近での重大な出来事といえば、教室長の先生の交代です。

なんと新年度から、前教室長の熊谷周作先生が諸口教室へ異動となり、新たに新教室長として岡本泰行先生が来られました。実は岡本先生、以前も今津教室の教室長を務められていたことがあるんです。既にどこかで噂を聞いてか、昔の卒業生で会いに来られる方もちらほら。とても今津で、慕われていたんだなという印象があります。今もふらっと居なくなったと思えば、毎日駐輪整備に出て、生徒たち一人一人の顔を見て声掛けをして下さる、とても生徒思いの先生です。指導力の方もピカイチの先生で、これから今津を引っ張っていって下さる、頼りになる教室長の先生だと思います。

【採点会&茶話会】

少し時間は戻りますが、新校舎の諸口予備校で、今年の3月13日に公立高校入試の採点会、その後に茶話会がありました。中3生のほとんど全員が、採点会から参加し、茶話会の方も楽しんでいってくれました。私自身こちらに参加させてもらったのは初めてで、共に受験を乗り越えたカイチの仲間同士で、お菓子やピザを食べて楽しくおしゃべりをしている様子を見るのは、何だかとても嬉しくて温かい気持ちになりました。締めめの図書カードをめぐるのジャンケン大会は、大盛り上がりで、何だかカイチ感を感じました(笑)。3年生とはここで最後の機会となりましたが、授業をあまり持ったことがなく、質問対応でしか関わったことのない子も、お礼やお別れの挨拶をしてくれて、改めてとてもやりがいのある仕事だと感じました。もっともっと受験生の力になれるよう、日々努めていきたいと思います。

【定期対策】

中学部では、5月の下旬あたりに1学期の中間テストがありました。その為に、GW前から定期模擬試験の予想問題を配布し、GW明けには定期模擬試験が行われました。そして試験が終われば、

いよいよ課題のスタートです。カイチでは学校ワークの他に、英国の単元別プリントや理社の一問一答などの課題があります。実はここに点数に繋がる秘訣があるんです。これらの課題は、実はカイチの各教科の先生がこれまでの過去問をもとに作成したもので、内容はかなり洗練されています。今回中学一年生も初めての課題でしたが、しっかりこなせていて、テスト後、やってよかったという声もたくさん上がりました。すでに経験した子は分かると思いますが、なかなかの量でこれをこなすには早い段階から、予定を立てて取り組んでおく必要があります。そういう時のために、スケジュールシートがあります。勉強に限らず、何事にも計画→実行の習慣をつけておくと、生きていくための大きな力になると思います。是非、いまのうちにスケジュールシートを活用して、少しでも習慣をつけていきましょう。

【9時間自習】

いよいよ中間テスト直前の土曜日に、恒例の9時間自習が行われました。進捗を聞いていると、何だか3年生はいつもよりワークを早く終わらせていたり、気合が入っているなという印象でした。2年生もよく質問が上がり、本気度が感じられました。1年生ははじめての9時間自習でしたが、最後



▲どんな科目の質問でも、すぐに答えられる岡本先生。圧倒的な対応力です！



▲お弁当タイム。3年生はみんな仲良く同じ部屋で。共に受験に向けて頑張る、良い仲間ですね。

までよく頑張っていたと思います。そうやって頑張ってきた自分のためにも、必ず良い点数を取って、良い学校へ行ってください。結果はすぐに出ないこともあります、必ず出る時がきます。今回頑張った事実を忘れないで、自分を信じて下さい！

【最後に】

こうした記事を書きながら教室のことを振り返ると、また去年とは違った空気感があるなと感じます。教室長の先生だけでなく、非常勤の先生も新しい先生が入ったこともあると思います。今回、記事には書けませんでした、キッズの方でも新しい生徒の子が入って雰囲気も変わってきています。新たな発見もたくさんあります。そんな中で自分のやるべきことは、今津教室でこれまでの先輩方が築き上げてきた良さを活かしながら、教室がより良い方向へ変わっていくように努めることだと思います。楽しさを忘れず、自問自答しながら、日々精進していきます。ありがとうございました。



▲熊谷先生はじめ、今津の先生とジャンケン大会する前中3生。本当に楽しそうでした。



▲ニューフェイスの山中先生。実はまだ皆が知らない秘密が…！ヒントは苗字です。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

カイクベ諸口校を紹介します！

山本 真義(カイクベ諸口校)

今年度より、開智総合学院の個別専門塾「カイクベ」の、諸口校がオープンしました！昨年度までの「個別指導部」から、より個別の専門性を特化させた教室です。今回は、カイクベ諸口校について紹介させていただきます。

—まるでカフェ?居心地の良い空間—

勉強の取っ掛かりは、通いやすい環境から。教室のカラーは、白と茶、そして緑。爽やかで広々とした空間で、気持ちよく勉強に取り組めます。



▲オープン直前の諸口校。何もかもフレッシュ！

—「できる」まで寄り添う!丁寧な指導—

個別指導の最大の特徴は、先生が担当する生徒の数が少ないこと。解説が対話形式で行われるので、分からない箇所があれば気軽に質問できます。演習の際も、先生が目

の前で見守っていて、困っていればフォローが入ります。一つ一つの内容を理解し、自力できちんと解けるようになってから次の単元に進むので安心です。



▲自慢の先生たち。みんな頑張り屋で頼りになります。

—集団指導システムの良い部分はまるっと導入!—

開智といえば、集団指導に定評があり、長年培ってきた優れたノウハウがたくさんあります。その中で、個別指導にも活用できるものは柔軟に取り入れています。たとえば、定期テスト対策では、勉強の計画作成に役立つ『スケジュールシート』を使ったり、テスト直前に『3時間自習』『9時間自習』を実施したり。開智のオリジナル教材も用いて、他の個別指導塾とは違う「カイチならではの」個別指導を行っています。



▲3時間自習の様子。やる子は伸びる。

—ブーム到来中?—

カイクベ諸口校は、最近とにかく雰囲気が良いです！生徒の数自体が増えていることに加えて、今(この記事を書いている5月中旬現在)は1学期中間テスト直前で、授業がない日も大勢の生徒が自習に来ています。良い意味で賑やかな、盛り上がっているムードがあります。

5月からは小学個別も正式に開設して、さらに展開の幅を広げています。



▲最近の諸口校。手前が授業、奥が自習。全員全力です！

最後に、カイクベ諸口校の管轄をしている私の紹介をさせてください。

私は、以前、別の大手個別指導塾に勤めていました。そこで、個別指導特有の高い料金設定と、一人一人の生徒にカリキュラムを作成する膨大な手間暇に「限界」を感じて、心機一転、集団指導に強い開智にやって来ました。そして集団指導のやり方を学び、その上で、改めて個別指導とも向き合ったことで、以前感じた限界は、実は取り組み次第で越えられるものだと感じるようになりました。カイクベ諸口校では、他の個別指導塾とも、開智の集団教室とも違う、魅力ある個別指導を実現できるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します！！